

発電所の環境影響評価審査に係る調査委託費

平成30年度予算額 **1.0億円 (0.7億円)**

事業の内容

事業目的・概要

発電所に係る環境影響評価審査の信頼性・透明性を確保しつつ、審査の迅速化等を図るため、以下の事業を実施します。

①環境影響調査・予測手法等の検討

- 新たな環境影響の調査技術、予測及び評価手法に関して、一般的な手法として利用するための方策等を調査・検討します。
- 今後、大規模な洋上風力発電に係る環境影響評価が見込まれることを見据え、陸上風力発電とは異なる影響等について国による現地調査を行い、洋上風力発電の審査手法等を検討します。

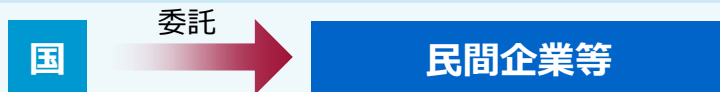
②効率的な環境影響評価審査手法の具体化

- 環境影響評価図書の出件数が増加しているなか、環境影響評価審査の迅速化が求められていることから、環境影響評価審査の補助システム等の導入を検討します。

成果目標

- ① 検討後速やかに事業者向けのガイドライン策定等を行うとともに、国で実施した洋上風力発電における現地調査の手法等について、他事業の参考となるよう例示します。また、現地調査結果を踏まえて審査の在り方を見直し、審査の迅速化に繋がります。
- ② 環境影響評価審査の補助システム等について検討し、審査の充実及び効率化に繋がります。

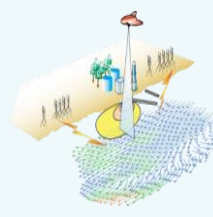
条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

①環境影響調査・予測手法の検討 (例)

<水温等遠隔探査
観測技術調査>



【火力】

<生態系評価手法調査>



【風力】

<海生生物等への
影響に関する調査>



【洋上風力】

- 調査技術、予測及び評価手法を検証し、有効性を評価
- 環境影響について現地調査を行い、審査手法等を検討



調査、予測及び評価の高度化・一般化や審査方法の見直しによる迅速化

②効率的な環境影響評価審査手法の具体化

<環境影響評価審査の補助システム等の導入>

環境影響評価審査の検証
で整理した内容の活用



効率的な審査手法の導入による
審査の充実及び迅速化

[調査] → [予測] → [評価] → [環境保全措置]

発電所に係る環境影響評価審査の
信頼性・透明性を確保しつつ、審査の迅速化を図る